

◎情報公開の経費

情報公開事業	【 総務課 】
--------	---------

【総合計画上の位置づけ】

- 計画の推進
- 市民参画・協働の推進

【事業の目的】

対象 市民等

意図 地方自治の本旨に即した市政を運営する上において、市民に対し知る権利を保障し、かつ説明責任を果たすため、市の保有する情報の一層の公開を図るため。

効果 市政の透明性を向上させ、市民参加の下における公正で民主的な市政を推進する。

【事業の内容】

- (1) 情報公開事業
 - ・市の保有する行政文書を、請求に応じて公開した。
 - ・市政情報について積極的に提供し、また要求に応じて分かりやすく説明した。
 - ・事業の結果を「運用状況報告書」にて公表した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,912	4,162	3,533		629

主な支出内訳

・ 情報公開事業	
情報公開・個人情報保護審査会委員報酬(情報公開部門) 5人	458
情報公開・個人情報保護運営審議会委員報酬(情報公開部門) 7人	72
事務補助嘱託員報酬 2人	1,722
市民提供用複写機保守委託料	405
審議会会議録テープ反訳業務委託料	187
市民提供用複写機賃借料	300

平成20年度は、情報公開請求が281件あり、そのうち公開が95件、一部公開が142件、非公開が4件、不存在が38件、取下げが2件であった。

情報公開・個人情報保護審査会において諮問事項3件について、10回の審査を行った。

情報公開・個人情報保護運営審議会において諮問事項1件について、3回の審議を行った。

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	■サービス部門 総務-08 情報公開事業 □支援部門								
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	461 情報公開事業							
主管課	総務課	関連課							
分野名	市民参画								
目標 (目標値)	行政情報の公開								
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考				
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日				
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯					
運営資源 状 況	対象者数	14,816人	15,615人	13,732人					
	決算値	3,533千円	3,383千円	1,205千円					
	(国・県)								
	(負担金等)								
	(一般財源)	3,533千円	3,383千円	1,205千円					
	人員配置数	1.4人	1.4人	1.9人					
	人 件 費	12,667千円	12,931千円	17,496千円					
事務事業 運営経費	協働の パートナー								
	総事業費	16,200千円	16,314円	18,701円					
	市民1人当 りの経費	92円	93円	107円					
	対象者1人 当りの経費	1,093円	1,045円	1,362円	対象者＝公開請求件 数＋情報提供件数＋ 貸出件数				
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価									
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※				
						※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)			
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)		
		目標値							
		実績値							
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)		
		目標値							
		実績値							
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)		
		目標値							
		実績値							
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)		
		目標値							
		実績値							
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している									
ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)									
団体名	横浜市	川崎市	横須賀市	平塚市	藤沢市	小田原市	茅ヶ崎市	逗子市	相模原市
情報公開率			46.8	47.7	40.7	77.8	70.9	73.7	32.3
請求件数			205	197	54	563	151	228	124
鎌倉市	三浦市	秦野市	厚木市	大和市	伊勢原市	海老名市	座間市	南足柄市	綾瀬市
33.8	32.3	74.6	45.4	28.2	64.2	54.2	44.3	42.9	42.3
281	124	508	97	39	53	48	79	7	26

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) (1)情報公開請求件数が、高い水準で推移している状況で、原局職員の情報公開請求に対する事務処理の負担が増えている。 (2)閲覧スペースが狭隘であるため、通常2組の使用が限度であり、情報公開の閲覧や資料閲覧等で長時間閲覧スペースを占有されると、他の利用者が閲覧できない。また、閲覧スペースは事務スペースとしても使用しているため、図面等の資料複写サービスを行う際の作業場所がなくなり、図面等の交付に手間取り、申出者を待たせてしまう。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) (1)情報公開請求者が必要とする情報がなにか確認を行い、できる限りの確な行政文書の把握に努め、原局職員の負担を減らすよう努めた。 (2)通常、雨水・汚水台帳等複写のための作業台として使用しているプリンター一台を仮の閲覧台として使用するようになっているが、場所が書棚と書棚の間で、閉塞感を強く感じる場所であり、また、人の出入りが多いため、緊急的に対応するスペースとしてしか使用はできない。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) (1)情報公開請求に対する事務処理の負担の軽減 (2)資料閲覧、情報公開請求、個人情報開示請求に対応する閲覧スペース、請求者個人のプライバシーを確保するためのスペース確保
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) (1)情報公開請求手続きによらない情報提供の推進 (2)現在の行政資料コーナーが、暫定的な場所及びスペースでの対応となっているため、現状における環境の中でプライバシーに配慮した対応をとる。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	A	改善の必要性 有
	情報公開の請求件数が高いレベルで推移している状況の中、原局職員・情報公開担当職員双方の事務負担を軽減する必要がある。そのため、職員にも請求者にも利用しやすい文書管理(情報公開)システムの構築が必要となる。また、情報公開請求手続きによる公開と手続きを要さない情報提供の具体的な例示を示す必要があり、新しい情報公開システム導入に合わせ検討していく。		
担当課長氏名:	総務課長 内藤 昭二		

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	A	改善の必要性 有
	職員の負担が少なく、市民等にも利用しやすい文書管理(情報公開)システムの構築が必要である。		
担当部名	総務部	部長名	兵藤 芳朗